

I. 次の楽曲はボロディン作曲、弦楽四重奏曲 第2番 第1楽章の一部分です。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④は転回音程になるように、下に書かれている音の上に全音符を書きなさい。なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。（3点×8=24点）（音程）

①	完全5度	②	短7度	③	長2度	④	増3度
⑤	長10度 (oct長3度)	⑥	完全1度	⑦	増4度	⑧	短6度

（転回音程）（3点×4=12点）

2. 次の(a)(b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。（2点×2=4点）
旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(a) ⑦を第Ⅲ音とする旋律短音階

(b) ②の異名同音を属音とする長音階

3. 次の(c)(d)で示される音階を、調号を用いずに右の五線に主音から上行形で書きなさい。（3点×2=6点）
旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(c) ⑦を導音とする短調の下属音を主音とする和声短音階

(d) ②を属音とする旋律短音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1. (1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。（2点×10=20点）

- (1) 種類 減七の和音 転回形 基本形 (2) 種類 減三和音 転回形 第1転回形
(3) 種類 属七の和音 転回形 第3転回形 (4) 種類 長三和音 転回形 第2転回形
(5) 種類 短三和音 転回形 基本形

2. 次の文中の《 》に関係調の名称を、[]に調名を、()に和音の種類を書き入れなさい
（短調は和声短音階とする）。（a～c：2点×4=8点、d：1点×7=7点）

- a. (1)の和音の第七音を下属音とする短調の属調の《 同主調 》はへ長調である。
b. (2)をⅡ度の和音とする調の下属調の平行調は[変ロ長調]である。
c. (4)と(5)を同時に含むの調号を下の五線に書きなさい。また、その調を属調とする調の平行調は[変ハ長調]である。

d. 和声短音階の音階上にできる三和音の種類をそれぞれ答えなさい。

- I { 短三和音 } II { 減三和音 } III { 増三和音 } IV { 短三和音 }
V { 長三和音 } VI { 長三和音 } VII { 減三和音 }

III. 次の楽語の意味を右から1つ選び、その番号を書きなさい。（1点×7=7点）

ossia	5	意味：	1. ほどよくゆっくりと	8. 自由な速度で
senza tempo	8		2. 活発に速く	9. 正確な速さで
tranquillo	13		3. 愛情を込めて	10. 弱音器・弱音ペダルを使用して
con sordino	10		4. 気まぐれに	11. 弱音器・弱音ペダルを使用しないで
capriccioso	4		5. あるいは・または	12. どのように
l'vace	2		6. 輝かしく	13. 静かに
misterioso	7		7. 神秘的に	14. 単純に

IV. 次の旋律A Bの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調しています。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。（2点×6=12点）

A

B

C

(い) Poco Adagio

(は) (に)

A ト長調 B へ短調

C (い) 変ホ長調 (ろ) 変ロ長調

(は) ハ短調 (に) 変ロ短調